

社会空間特論

土肥真人

◆ 講義概要

本年度は、開発途上国の都市問題を題材に、都市社会-都市空間の関係を講義する。具体的には、フィリピン・マニラ市におけるチャイルドフレンドリーシティ・プログラム及びラテンアメリカ各国における民主主義的参加による開発プログラムに関するテキスト（英語）を輪講する。

◆ 講義の目的

人は社会的生物であり、同時に空間的存在である。したがって、人類の歴史はまた、社会と空間の相互関係によって記述することができる。現代社会・現代都市を理解することを特に念頭に置き、社会と空間を同時に把握しその関係を追究するための思考技術を講義する。コミュニティ・デザイン特論と交替で隔年開講。

本年度は、フィリピン・ラテンアメリカの都市問題に関するテキストの読解を通して、環境と社会の関係の空間デザインへの反映の仕方、空間デザインから社会への働きかけの様式を理解することを目的とする。

◆ 講義計画

- 第三世界の都市問題を理解するために、上記テキスト（適宜配布）を輪読する。
- 適宜、理解を助けるための、背景の説明や概念の解説などを行う。
- テキストを批判的に理解し検討するために、疑問点、非了解点を挙げ、ディスカッションを行う。

1. オリエンテーション
2. テキストの書誌的解説
3. ～7. テキストの輪読・ディスカッション
8. テキスト解説
9. ～12. テキストの輪読・ディスカッション
13. テキスト解説
14. 講義のまとめ

◆ 成績評価

1. 担当するテキストの訳稿
2. 内容に関する疑問、内容に関する疑問点、非了解点の検討
3. 以上のディスカッションへの参加により採点する。